

# No.1 時代を駆け抜けた ハンサム・ウーマンたち 全6回

昨年度は大河ドラマ「八重の桜」で新島八重が注目されました。八重は夫・襄にその内面をハンサムと例えられ、江戸、明治、大正、昭和と、その評価に値する生き様を後世に伝えました。当然ながら、八重が生きた時代には、ハンサムと称するに値する多くの女性が存在しました。今回の講座では、そのような女性の中から5人を取り上げます。時代を駆け抜けた女性たちの生き方に学んでみませんか。同志社史資料センター社史資料調査員小枝弘和がコーディネーターを務めます。

開講日 5月22日(木) 6月12日(木) 6月26日(木) 時間 14:00~15:30  
7月3日(木) 7月10日(木) 7月24日(木) 定員 70名 \*お申込みが20名に達しない場合  
受講料 6回一括15,000円 各回3,000円 開講を取りやめる場合があります。

**第1回 『進取と矜持—新島八重の世界観—』**

ココに注目！  
江戸、明治、大正、昭和と激動の時代を生きた八重の中で広がっていく世界はそのまま彼女の生き方に反映されました。八重の人生のターニングポイントに焦点を当てながら、今一度八重の生涯を振り返ります。

5/22 木  **講師 小枝 弘和**  
(同志社大学 同志社史資料センター社史資料調査員)


**第2回 『晶子の恋文と「みだれ髪」の世界』**

ココに注目！  
ロマン主義文学の金字塔となった与謝野晶子の「みだれ髪」。その作中にひそむ、一人の娘の揺れる思いを恋文とともに描き出します。

6/12 木  **講師 上田 遥香**  
(同志社大学大学院文学研究科博士前期課程)

**第3回 『社会主義婦人論の論客から、初代労働省婦人少年局長へ—山川菊栄の思想と生涯—』**

ココに注目！  
社会主義婦人論の論客として、戦前、戦中を生き抜き、戦後は初の労働省婦人少年局長として、女性の社会進出の条件づくりに奔走した山川菊栄の思想と生涯を辿ります。(※講座終了後80分程度の映像資料をご用意しています。閲覧自由)

6/26 木  **講師 井上 輝子**  
(和光大学名誉教授、山川菊栄記念会代表)


**第4回 『高村智恵子の生涯と芸術の軌跡』**

ココに注目！  
「新しい女」として注目された智恵子の生涯と紙絵に昇華された芸術の軌跡を紹介します。

7/3 木  **講師 佐藤 真由美**  
(福島県 二本松市教育委員会)


**第5回 『平塚らいてう—元始、女性は太陽であった』**


ココに注目！  
『青鞥』で自我の確立を叫んだらいてうは、恋愛・結婚・出産を経て母性(女性)の権利を主張、やがて協同自治の社会をめざすが戦争で挫折、戦後は世界平和に向けて活動する。

7/10 木  **講師 折井 美耶子**  
(女性史研究者)

**第6回 『なにものにも服従せず、伊藤野枝という生き方』**

ココに注目！  
関東大震災後の混乱の中、わずか27歳で大杉栄とともに憲兵隊に命を絶たれた。『青鞥』に参加して旧習に挑み、果敢に社会運動に取り組んだ。2人の男性との間に7人の子をもうけた生き方がまぶしい。

7/24 木  **講師 江刺 昭子**  
(ノンフィクションライター)

**コーディネータ**  **小枝 弘和**  
(同志社大学 同志社史資料センター社史資料調査員)

1975年生まれ。同志社大学大学院文学研究科修士課程修了。佛教学大学院教育学研究科博士後期課程満期退学。博士(教育学)。現職は同志社大学同志社史資料センター社史資料調査員。2013年大河ドラマ特別展「八重の桜」企画委員。主著「William Smith Clarkの教育思想の研究—札幌農学校の自由教育の系譜—」(思文閣出版、2010年)、共著「時代を駆ける新島八重」(歴史春秋社、2012年)

# No.2 日本映画と政治 全3回

**講師 村田 晃嗣**  
(同志社大学 法学部教授・同志社大学長)

20世紀はファシズムと精神分析と映画の時代(犬田四方彦)と言われる。大衆文化としての映画が近現代日本の政治をどう描いてきたのか、また、政治は映画をどう利用してきたのか——両者の相互作用を、映画と権力者、映画と冷戦、映画と自衛隊といったテーマから議論してみたい。本多猪四郎監督『ゴジラ』(1954年)や岡本喜八監督『日本のいちばん長い日』(1967年)、森谷司郎監督『小説吉田学校』(1983年)など、おなじみの作品をとり上げてみたい。総理大臣が一番似合う俳優は誰か?答えは最初の講義の折に。

**第1回 5/27 火**

**第2回 6/17 火**

**第3回 7/8 火**

時間 18:30~20:00  
定員 70名  
\*お申込みが20名に達しない場合開講を取りやめる場合があります

受講料 各回3,000円



**むらた こうじ**  
1964年神戸市生まれ。同志社大学法学部卒。神戸大学大学院法学研究科博士課程修了。1991-95年米国ジョージ・ワシントン大学留学。1998年神戸大学博士(政治学)。2005年4月同志社大学教授。2013年4月より同志社大学長。専門はアメリカ外交・安全保障。1999年、『大統領の挫折』でサントリー学芸賞、アメリカ学会清水博賞。趣味は観劇・映画鑑賞

# No.3 同志社ミニビジネススクール 「グローバル経済の読み方」 全5回

**講師 浜 矩子**  
(同志社大学ビジネススクール教授)

受講生とともにグローバル経済の真相を読み解いていく90分です。ヒト・モノ・カネが国境を越えて行き来するグローバル経済はどんな課題をかかえ、どこに向かうのか、受講生とともに真相を読み解いていく90分です。毎回、その潮流に迫るテーマに挑みます。本講座のスタイルは教授の同志社大学ビジネススクールでの講義「受講生の質問が講義をつくる」に準じたものです。各回:2~4回 前回終了時に提示された「キーワード」に関する質問を各自1分で発表。それに基づき講義。第5回 受講生スピーチ大会です。

**第1回 4/24 木**

**第2回 5/21 水**

**第3回 6/26 木**

**第4回 7/24 木**

**第5回 8/21 木**

時間 19:00~20:30  
\*本講座初受講の方は初回のみ18時30分スタート

定員 15名  
\*お申込み多数の場合は抽選で決定いたします

受講料 50,000円 (一括のみ)



**はま のりこ**  
1952年生まれ。一橋大学経済学部卒業。三菱総合研究所初代ロンドン駐在員事務所長兼駐在エコノミスト等を経て2002年秋より現職。近著『老楽国家論—反アベノミクスの生き方のススメ』(新潮社)『円安幻想ドルにふりまわされないために』(PHPビジネス新書)など多数